



令和7年度 第1回 環境審議会

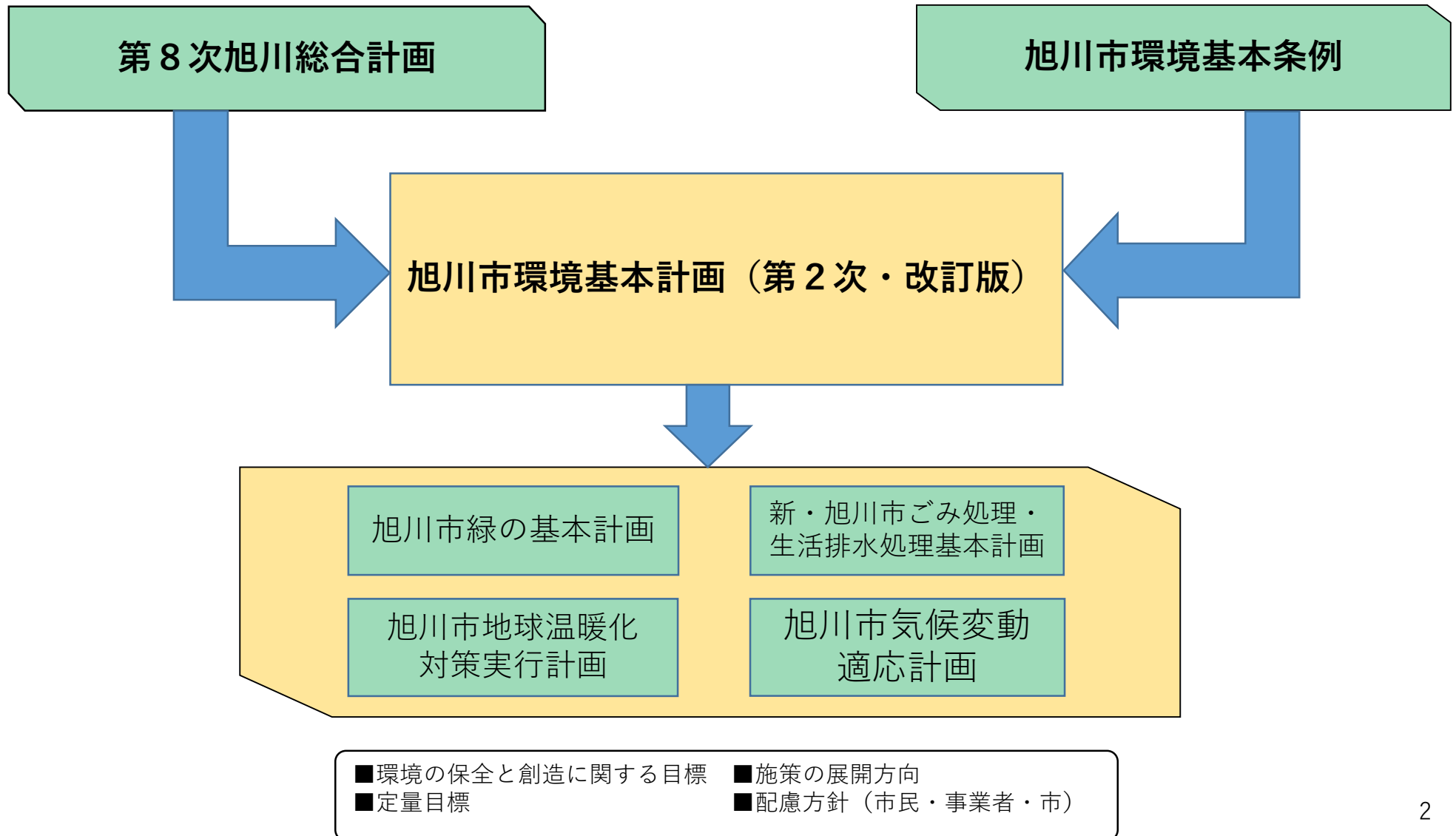
(令和 7 年度環境部主要事業の概要について)

令和7年 6 月 1 0 日

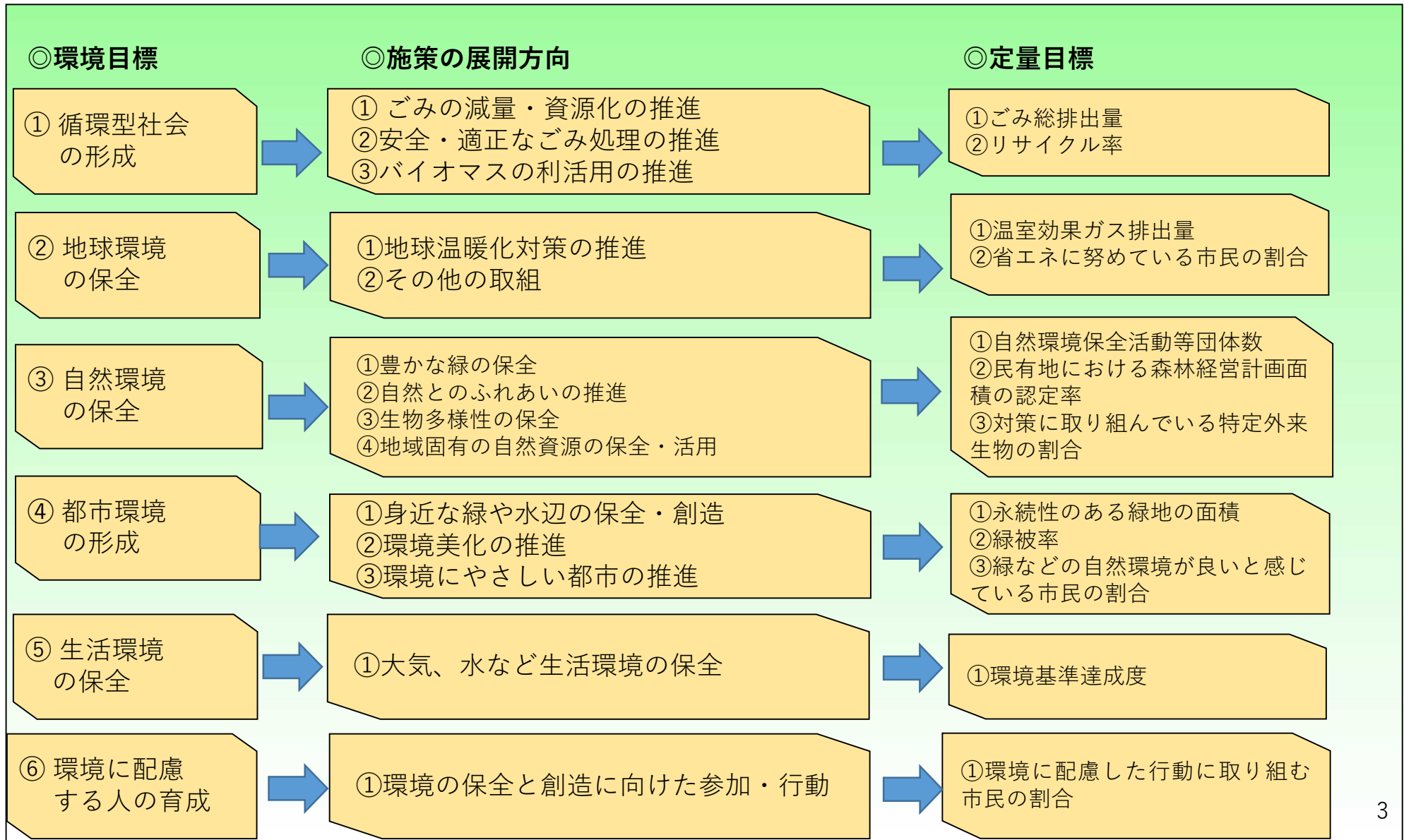
旭川市 環境部

ASAHIKAWA CITY

環境基本計画について（位置付け）



環境基本計画について（施策体系）



定量目標に対する進捗状況（環境部所管事業該当のみ）



	基準値	R1 （実績）	第1期目標 値（R1）	R4 （実績）	第2期目標値 （R5）	R5 （実績）	R6 （実績）	最終目標値 （R9）
ごみ総排出量	118,548 t （H26）	116,108 t	112,800 t	111,187 t	109,000 t	106,938 t	105,160 t	100,000 t
リサイクル率	23.2% （H26）	21.3%	25%	20.8%	25%	20.4%	19.9%	25%
温室効果ガス 排出量	3,489千 t - CO ₂ （H25）	3,099千 t - CO ₂	—	2,673千 t - CO ₂	2,376千 t - CO ₂	—	—	2,145千 t - CO ₂
省エネに努め ている市民の 割合	67.5% （H27）	59.8%	70%	—	70%	61.7%	—	70%
自然環境保全 活動等団体数	26団体 （H26）	26団体	28団体	26団体	30団体	31団体	31団体	32団体
対策に取り組 んでいる特定 外来生物の割 合	80% （H26）	80%	100%	60%	100%	67%	67%	100%
緑などの自然 環境が良いと 感じている市 民の割合	59% （H27）	57.9%	62%	—	65.5%	59.4%	—	69%
環境基準達成 度	11/14項目 （H26）	13/14 項目	14/14 項目	13/14 項目	14/14 項目	13/14 項目	13/14 項目	14/14 項目
環境に配慮し た行動に取り 組む市民の割 合	86% （H27）	82.1%	86%	—	86%	80.6%	—	86%

環境目標①循環型社会の形成【ごみの減量・資源化の推進】



【令和6年度の実績】

●家庭ごみの発生，排出抑制の推進

- ・ パネル展示やホームページでの周知啓発
- ・ 生ごみ堆肥化の推進（講習会8回148人参加、相談会1回9人参加）
- ・ あさひかわエコショップの利用推進（認定61店舗）
- ・ 食品ロス削減の推進（出前講座5回99人参加、冷蔵庫整理整頓セミナー1回69人参加、フードドライブの実施（R6.5月～R7.3月））
- ・ 集団回収の推進（再生資源回収奨励金交付）（回収実績：約6,300 t）

●事業系ごみの発生，排出抑制及び循環的利用の推進

- ・ 食品ロス削減協力店（飲食・小売店）（登録19店舗）
- ・ ごみ減量等推進優良事業所（認定98事業所）
- ・ 多量排出事業者へ訪問調査、指導・助言（31件訪問）
- ・ 食べマルシェ等、イベントの発生ごみの分別・適正処理の周知

環境目標①循環型社会の形成【ごみの減量・資源化の推進】



【令和6年度の実績】

- プラスチック資源循環の計画的な推進
 - ・容器包装廃棄物（ペットボトル、プラスチック製容器包装等）の資源化の推進
 - ・製品プラスチックの分別収集や資源化について、本市に適した手法を検討
- 普及啓発の推進
 - ・子ども向け体験イベントの実施（玩具の修理2回73個、おもちゃと絵本の交換会2回 持込330個 引渡321個）

環境目標①循環型社会の形成【ごみの減量・資源化の推進】



【令和7年度の取組】

●家庭ごみの発生，排出抑制の推進

- ・フードドライブ【予算なし】

総合庁舎1階ロビーで常設開催し一定の効果を確認。食品を必要としている方々への福祉施策でもあることから、福祉保険部とも連携し、回収食品の提供先を拡充して実施する。

- ・生ごみ堆肥化の講習会及び相談会の実施【予算額：43千円】
- ・集団回収の推進（再生資源回収奨励金交付）【予算額：23,458千円】

●事業系ごみの発生，排出抑制及び循環的利用の推進

- ・食品ロス削減協力店（飲食・小売店）【予算額：7千円】

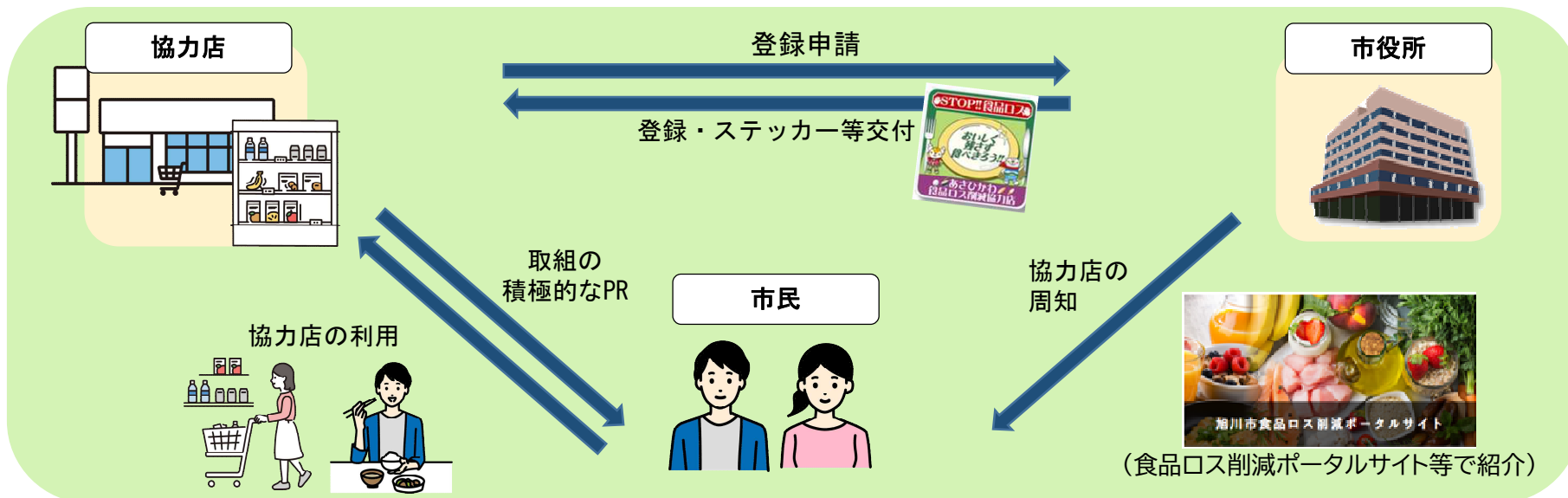
広報誌で協力店を募集するほか、ホームページで事業周知や登録店を紹介するなどして、R14までに登録店舗100か所を目指す。

環境目標①循環型社会の形成【ごみの減量・資源化の推進】

●フードドライブ



●食品ロス削減協力店（飲食・小売店）



環境目標①循環型社会の形成【ごみの減量・資源化の推進】



【令和7年度の取組】

●プラスチック資源循環の計画的な推進

- ・プラスチック資源循環促進法への対応検討【予算なし】

[方向性] ➤回収対象：100%プラスチック製品のみ

➤収集方法：プラスチック製容器包装と混合でステーション収集

➤再商品化：日本容器包装リサイクル協会へ委託

[検討事項] ➤中間処理施設での作業内容・経費の精査

➤モデル事業の実施方法

➤分別区分変更に係る市民周知の方法

➤汚れたプラ容器の焼却処理移行（焼却施設周辺地区の理解が前提）

●普及啓発の推進

- ・子ども向け体験イベントの実施（玩具の修理、おもちゃと絵本の交換会）

【予算額53千円】

環境目標①循環型社会の形成【ごみの減量・資源化の推進】



○製品プラスチックの分別収集対応、汚れたプラ容器の焼却移行イメージ

【分別変更内容】

品目	汚れ	排出区分	
		現行	移行後
プラスチック製 容器包装	なし	プラスチック製容器包装 排出量5,657t（R6実績）	プラスチック製容器包装 ＋製品プラスチック
	あり	燃やせないごみ 排出量326t（R6推計）	燃やせるごみ
製品 プラスチック	なし	市内7か所で拠点回収 排出量17t（R6実績）	プラスチック製容器包装 ＋製品プラスチック
		燃やせないごみ 排出量688t（R6推計）	
	あり	燃やせないごみ	燃やせないごみ



【令和6年度の実績】

- 清掃工場、廃棄物処分場の適正管理の徹底とエネルギーの有効活用
 - ・適切な維持管理及び安全で安定した運転管理（焼却70,342 t、埋立20,224 t）
 - ・施設保全計画に基づく計画的な施設改修
 - ・発電電力の売却及び余剰電力等の施設利用（115,290千円）
- 市民・事業者との連携・協働によるごみ処理体制の充実
 - ・安定したごみ収集運搬体制の維持（家庭ごみ収集車：63台）
 - ・ごみステーション環境整備の推進（カラス対策ネット119枚貸出、カラス対策ステーション22個貸出、適正排出協力員191名登録）
 - ・粗大ごみのオンラインによる受付開始（R6.6月～）
 - ・粗大ごみ収集の配車・ルート作成の自動化に向けた実証実験



【令和 6 年度の実績】

- ごみ処理施設整備の推進
 - ・(仮称)旭川市リサイクルセンターの建築及び外構工事
 - ・近文清掃工場の再延命化工事
 - ・次期最終処分場の基本設計及び各種調査
- 産業廃棄物排出事業者や許可業者に対する監視、指導の徹底
 - ・職員及びボランティア協力員による不法投棄監視パトロール（通年：約290回）
 - ・不法投棄防止啓発看板等の設置（看板 106箇所 のぼり旗 42枚）
 - ・産業廃棄物排出事業者等に対する立入検査等を実施（検査101件・指導54件）



【令和7年度の取組】

- 清掃工場、廃棄物処分場の適正管理の徹底とエネルギーの有効活用
 - ・清掃工場の適切な管理及び計画的な施設改修の実施
【予算額：管理費599,727千円 改修費14,882千円】
 - ・廃棄物処分場の適正な管理及び計画的な施設改修の実施
【予算額：管理費537,790千円 改修費13,310千円】
- 市民・事業者との連携・協働によるごみ処理体制の充実
 - ・ごみステーション環境整備の推進
 - ・粗大ごみオンライン受付の利用推進
【粗大ごみ収集デジタル化事業費：103千円】
市HPやデジタルサイネージ、分別アプリ・SNS等を利用して周知を行う
 - ・粗大ごみ収集の自動配車・ルート作成システムの導入【予算なし】
R8年度早期のシステム導入に向けて費用対効果等の検討を進める

環境目標①循環型社会の形成【安全・適正なごみ処理の推進】



粗大ごみのオンライン受付の利用拡充

インターネットによるオンライン受付の開始（R6.6～）



市 民



電話受付

平日9時～17時
土・日・祝日は休み

オペレーター



オンライン受付

24時間
365日受付可能

オンライン化のメリット

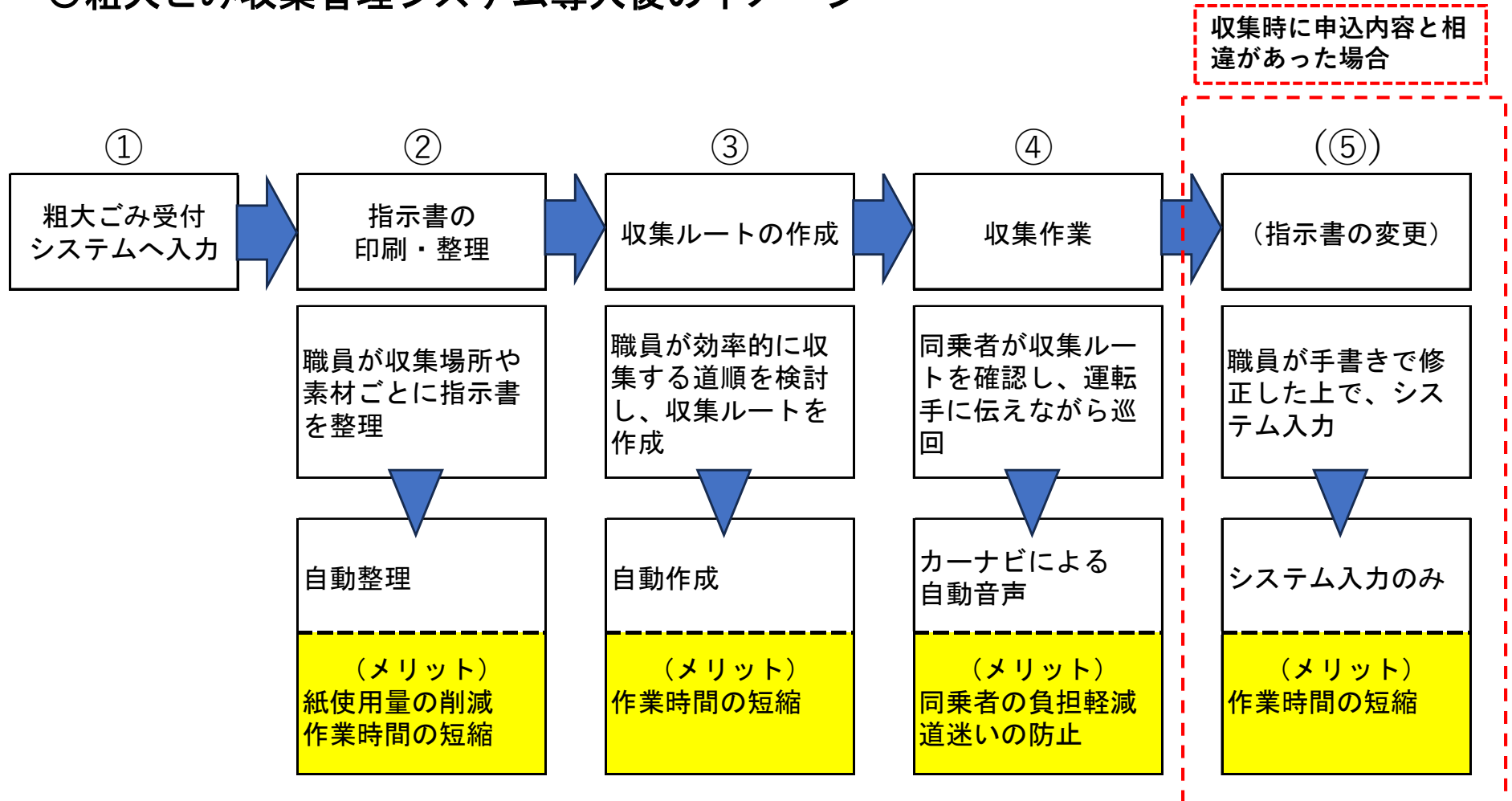
- 24時間365日、市民の都合に合わせて申込み可能
- 休み明け電話受付の混雑緩和
- オペレーターの負担軽減
- より丁寧な受付対応

実績：R7.2～R7.4の直近3か月件の粗大申込件数10,075件
うち、オンライン申込件数 1,752件（17.4%）
当面の目標としてオンライン比率20%を目指す

環境目標①循環型社会の形成【安全・適正なごみ処理の推進】



○粗大ごみ収集管理システム導入後のイメージ



環境目標①循環型社会の形成【安全・適正なごみ処理の推進】



【令和7年度の取組】

●ごみ処理施設整備の推進

- ・(仮称)旭川市リサイクルセンターの選別処理設備及び外構工事
【予算額：315,065千円】
- ・近文清掃工場の再延命化工事
【予算額：2,452,370千円】
- ・次期最終処分場の整備に向けた測量、実施設計等
【予算額：199,033千円】

●産業廃棄物排出事業者や許可業者に対する監視、指導の徹底

- ・職員による不法投棄監視パトロール【予算額：38千円】
ボランティア協力員の廃止により、R7年度から職員のみで実施
監視強化により不法投棄の抑制を図り、不法投棄物の早期処理により生活環境への影響の防止に努める。
- ・不法投棄防止啓発看板等の設置【予算額：142千円】
地域から設置要望のある場所等に看板、のぼり旗を設置し不法投棄の抑制を図る。

環境目標①循環型社会の形成【安全・適正なごみ処理の推進】

新たな資源物中間処理施設「（仮称）旭川市リサイクルセンター」



住 所：旭川市東旭川町上兵村282番地

階 数：2階建て

処理対象物：空き缶、空きびん、家庭金物、紙パック

処理能力：20t/日（1日当たり5時間稼働）

- ・1階にエントランスホール、2階に見学用通路・研修室等を設置。
- ・資源循環、その他環境に係る諸課題について実際に見て感じることができる施設を目指す。



びん手選別
コンベア



搬入ストック
ヤード

環境目標①循環型社会の形成【安全・適正なごみ処理の推進】



埋立期限（R12.3月）を見据えた施設整備「次期一般廃棄物最終処分場」



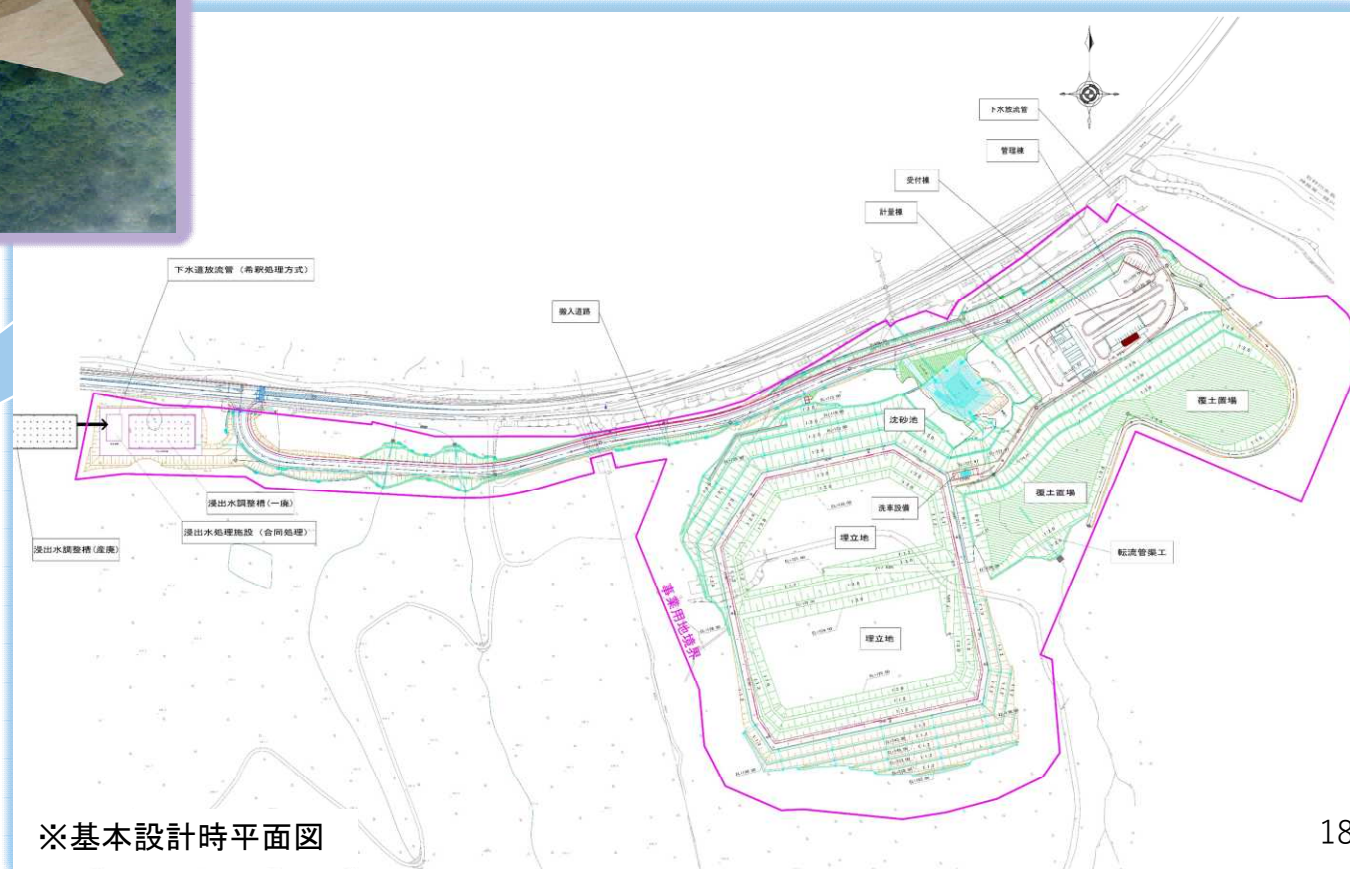
- ・ R5年度に基本計画を策定。規模やイメージ図等で施設の全体像を示した。
- ・ 昨年度は基本設計を実施。基本計画を基に施設の仕様や詳細な図面等を作成した。

基本計画

基本設計

実施設計

今年度は事業用地を確定する測量や実施設計に着手。



※基本設計時平面図

環境目標①循環型社会の形成【安全・適正なごみ処理の推進】



ごみ処理施設整備スケジュール

施設名 \ 年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
【新設】 （仮称）旭川市 リサイクルセンター	現施設（リサイクルプラザ） 供用期間	供用開始 （R7.10～予定）						
	選別設備工事							供用準備
	外構工事							
	【再延命化】 近文清掃工場	現施設の延命化期間（概ねR9まで）			再延命化後稼働期間 （概ねR27まで）			
建設工事								
【新設】 次期最終処分場		現施設（廃棄物処分場）供用期間						供用開始 （埋立期間…15年間）
	基本設計	実施設計						
	環境影響調査	地質調査	建設工事					
		用地確定測量	用地取得					



【令和6年度の実績】

- 本市の緑豊かな森林資源を生かした木質系のバイオマス利活用の推進
 - ・旭川産ペレットの実現検討
 - ・廃棄物処分場における木質バイオマス燃料の製造
- バイオマス利用に関する普及啓発の推進
 - ・木質バイオマスストーブ導入促進事業補助金 交付件数27件

環境目標①循環型社会の形成【バイオマスの利活用の推進】



【令和7年度の取組】

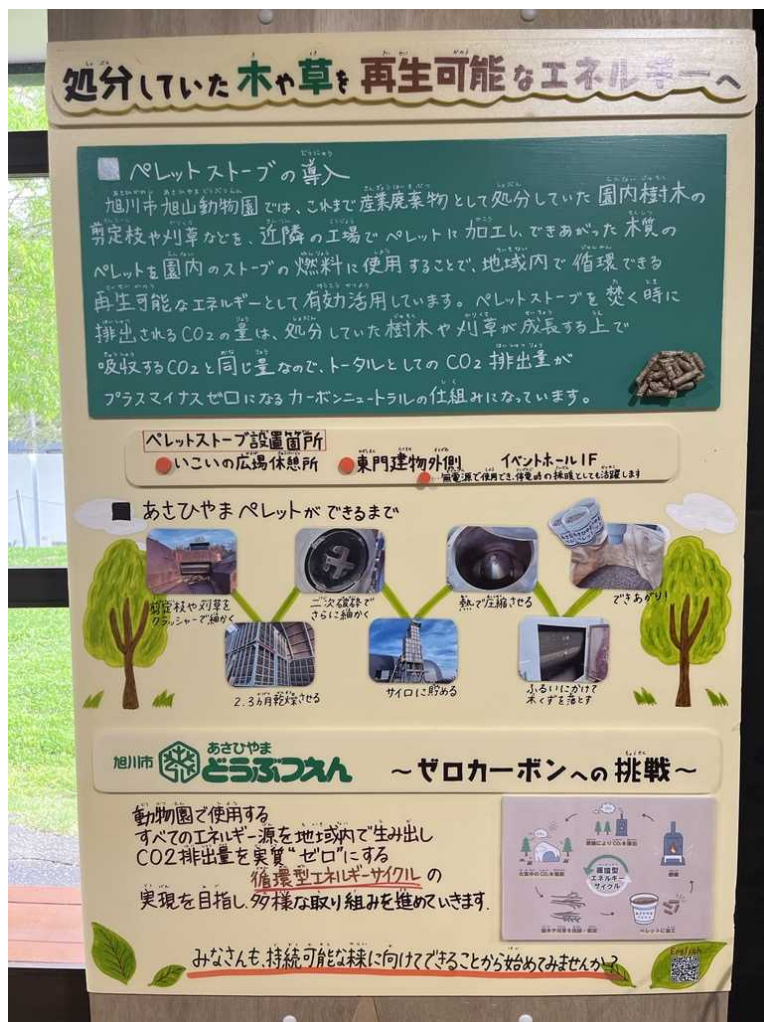
- 本市の緑豊かな森林資源を生かした木質系のバイオマス利活用の推進
 - ・旭川産の木材を活用したペレットのサプライチェーンの検討 【予算なし】
- バイオマス利用に関する普及啓発の推進
 - ・木質バイオマスストーブ導入促進事業補助金 【予算額：10,000千円】

設備名	補助率	上限額	件
薪ストーブ	1/3	20万円	30
ペレットストーブ	1/3	20万円	20

環境目標①循環型社会の形成【バイオマスの利活用の推進】



参考/旭山動物園内のペレットストーブ





【令和6年度の実績】

- 地球温暖化対策に向けた実行計画の策定と実践
- ゼロカーボン実現への意識改革・行動変容
- 省エネルギーの徹底
- 再生可能エネルギーの導入促進
 - ・[Zero Carbon ZOO] 旭山動物園を核としたエネルギーの地域循環モデルの構築に向けた動物園内のエネルギー調査などの実施
 - ・中小企業者温室効果ガス排出量可視化支援事業補助金 交付件数 25件
 - ・地域エネルギー設備等導入促進事業補助金 交付件数 36件
 - ・改正気候変動適応法を踏まえ、市有施設5ヶ所、民間施設7ヶ所にクーリングシェルター設置

環境目標②地球環境の保全【地球温暖化対策の推進】



【令和7年度の取組】

●地球温暖化対策に向けた実行計画の策定と実践

●ゼロカーボン実現への意識改革・行動変容

●省エネルギーの徹底

●再生可能エネルギーの導入促進

(継続する取組)

・再生可能エネルギー設備の導入支援 【予算額：5,000千円】

・地球温暖化対策実行計画に関わる事業の推進など

・エコライフレポート（記録の一部フォーム化）など

(重点的な取組)

・再エネ発電設備の適正立地に向けたゾーニング調査 【予算額：22,515千円】

⇒北海道が定めた環境配慮基準の条件等について調査・整理を行った上で、導入促進エリア・保全エリア等に分けたマップを作成。

・市内中小企業者に対する脱炭素経営支援 【予算額：1,500千円】

⇒中小企業者の脱炭素経営への転換を促すため、CO2排出量の可視化を支援。

併せて、民間事業者と連携し、低廉かつ脱炭素化された電力調達の支援を検討。

環境目標②地球環境の保全【地球温暖化対策の推進】



参考/クーリングシェルター



旭川市指定

クーリングシェルター

- 涼みどころ -

- ・熱中症予防のため、休憩できるスペースを開放しています
- ・施設のルールを守ってご利用ください

旭川市WEBサイト
熱中症予防について ➡ 

旭川市WEBサイト
クーリングシェルターについて ➡ 

改正気候変動適応法に基づき、以下の基準を満たした施設をクーリングシェルターとして指定(利用可能期間は毎年6月1日～9月30日)

- ・ 適当な**冷房設備**を有すること
- ・ 熱中症特別警戒情報が発表された際において、解放可能日時において**無料で開放**できること
- ・ 受入可能人数が滞在するための空間が適切に確保されていること

指定施設(R7.4.1時点)

市有施設

- ・ 旭川市総合庁舎
- ・ 中央図書館
- ・ 末広図書館
- ・ 神楽図書館
- ・ 永山市民交流センター

民間施設

- ・ イオン旭川西店
&イオンモール旭川西
- ・ イオン旭川永山店
- ・ イオン旭川駅前店
&イオンモール旭川駅前
- ・ ザ・ビッグ宮前通店
- ・ ザ・ビッグ永山店
- ・ ザ・ビッグ緑が丘店
- ・ ザ・ビッグアモール店

本市へのGX・DX産業の集積に向けたゾーニング検討業務の概要

1. 目的

▷ 現在、石狩・札幌・千歳・苫小牧の道央エリアにおいて、ラピダスを軸に大型のDCを含む高付加価値の半導体関連企業が急速に集積している中、旭川エリアにおいて、当該企業を誘致・集積していくためには、当該企業が再エネを大量に需要していることから、再エネを大規模に展開していくことが必要。

▷ 環境に配慮しながら、再エネを大規模に展開していくためには、地球温暖化対策推進法に基づく促進区域の設定が有効であることから、促進区域の設定に向けた基礎調査として、再エネの導入ポテンシャルを踏まえた開発可能性を調査し可視化。

2. 対象とする再エネ

▷ 「陸上風力発電」「太陽光発電」

※ 令和6年度、旭山動物園を起点とした地域循環型エネルギーシステム構築支援業務の中で本市の再エネポテンシャルを調査したところ、中小水力や地熱等のポテンシャルは著しく低いことから、対象から除外。

3. 業務概要

① 文献調査・ヒアリング調査

- ▷ 再エネの導入ポテンシャル。
- ▷ 国の環境配慮基準。
- ▷ その他規制等。

② 現地調査

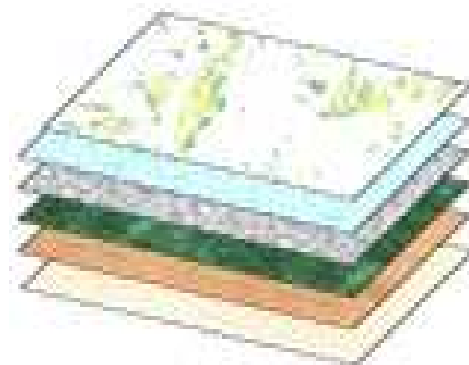
- ▷ 文献調査・ヒアリング調査を補完。

③ ゾーニングマップ作成

▷ 調査結果等を踏まえ、「立地が困難な保全エリア」「立地を促進するエリア」「立地に当たり配慮が必要な調整エリア」にゾーニングし、GIS（地理情報システム）に取りまとめ。

地球温暖化対策推進費の一部
22,515千円
財源：国費（4分の3）
16,886千円
助成
1,000千円
一般財源
4,629千円

文献調査



ヒアリング調査



現地調査



ゾーニングマップ作成

4. 旭川市GX懇談会

▷ ゾーニングの検討を行うに当たり、多様な主体と検討の進捗等に関する情報を共有しながら、その意見等を聴取し事業に反映していくことは、再エネの導入の推進や本市へのGX・DX産業の集積のみならず、事業の透明性の確保や市民の理解に基づく再エネの導入の推進にも寄与することから、旭川市GX懇談会を設置・運営。

北海道苫小牧市

太陽光



栃木県那須塩原市

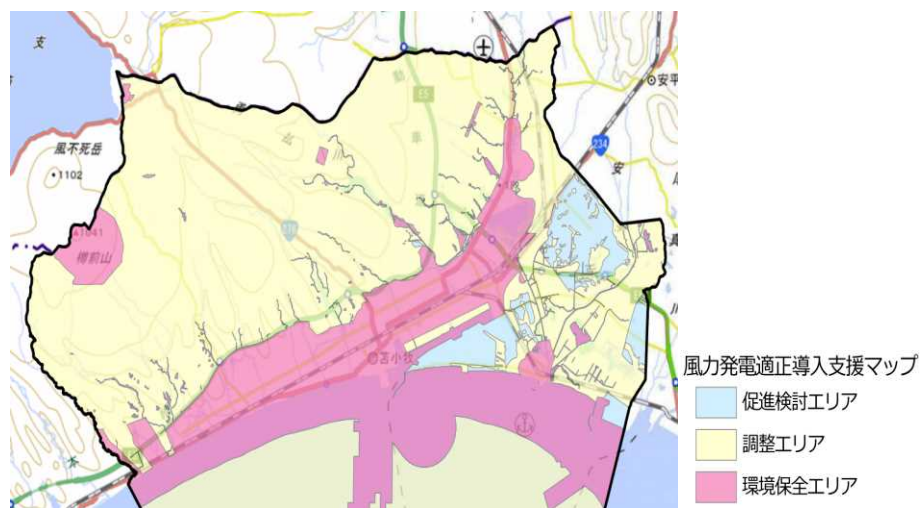
地上設置型太陽光発電ゾーニングマップ



特色：
これまでの市内での開発状況を踏まえ、特に森林を伐採しての大規模な開発を避けるように環境保全エリアの条件を設定しました。
目標達成に向けては、地上設置型だけでなく、屋根設置型太陽光発電も併せて検討していく必要があります。

エリア	面積ha (割合)
導入可能性エリア	25 (0.042%)
配慮調整エリア	122 (0.21%)
環境保全エリア	56,948 (96.1%)

陸上風力+洋上風力



風力発電ゾーニングマップ

特色：
風況が良い山岳地に分布する貴重な自然環境や、住宅地周辺の生活環境への影響を配慮しつつ配慮調整エリア、環境保全エリアの条件を設定しました。

エリア	面積ha (割合)
導入可能性エリア	0 (0%)
配慮調整エリア	1,065 (1.8%)
環境保全エリア	41,753 (70.4%)

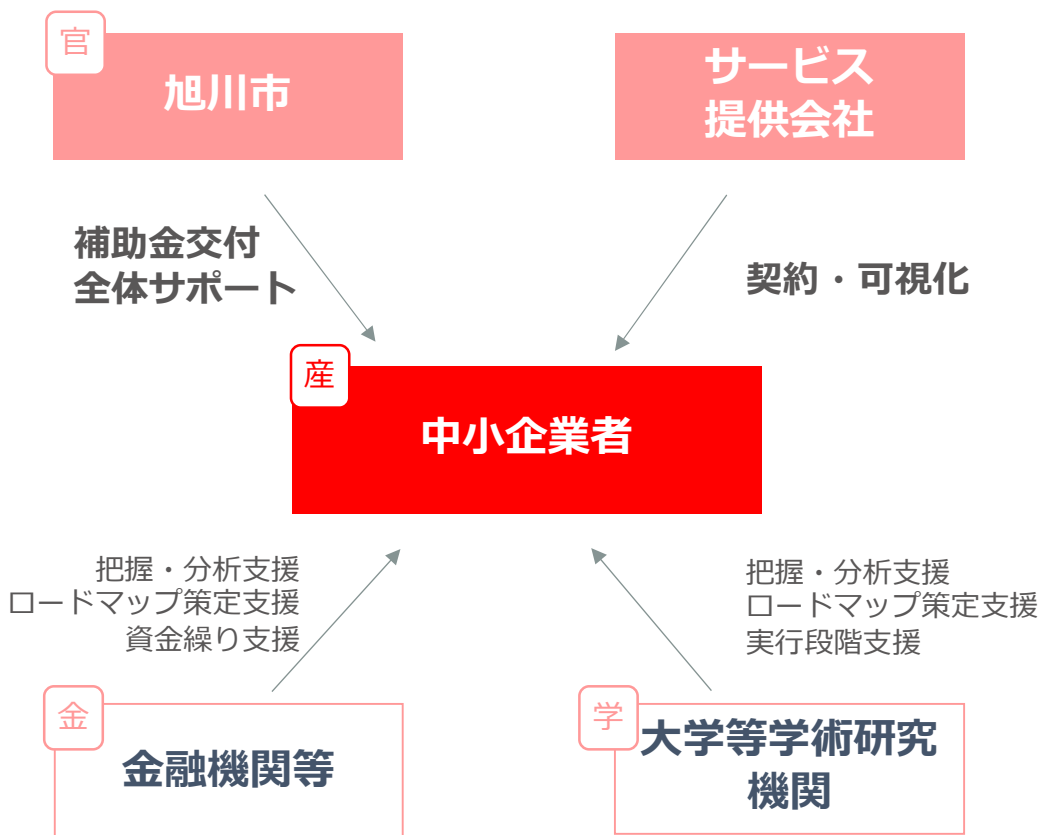


環境目標②地球環境の保全【地球温暖化対策の推進】

参考/中小企業者に対する脱炭素経営支援



体制イメージ



共同購入事業について

共同購入は、みんなで集まることで生まれる大きな購買力を活かした仕組みです。

本事業では、太陽光パネル・蓄電池のプロである事務局が皆さまにかわって、製品や販売施工事業者を選定。相見積りの手間を省きながら、“安心”で“おトク”な太陽光パネルや蓄電池の設置を実現します。



出典:みんなのうちに太陽光

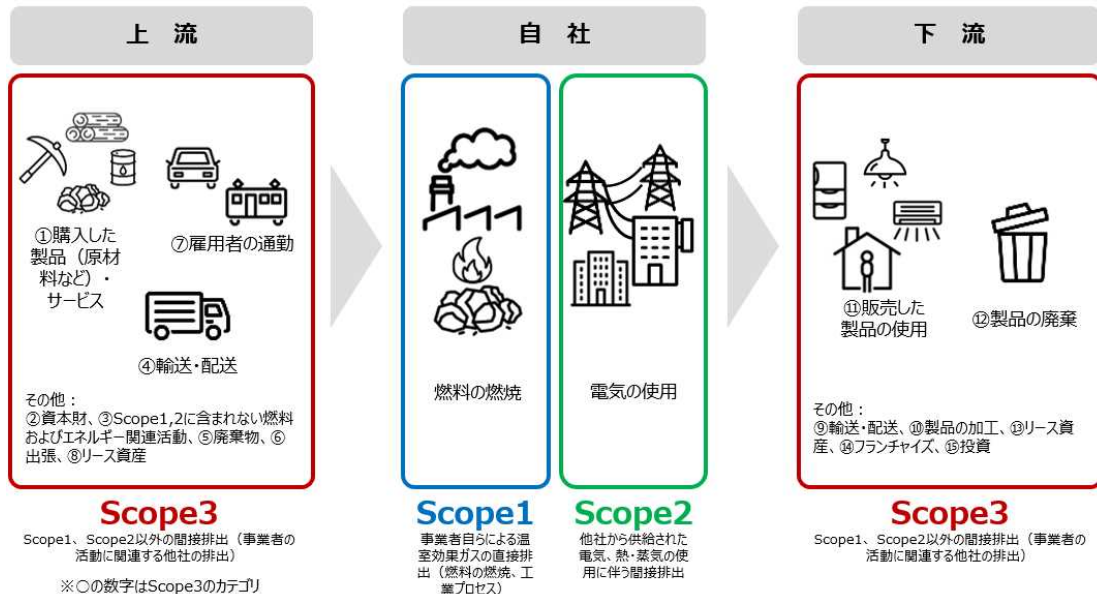
<https://group-buy.jp/solar/hokkaido/info/group-buying-merits>
<https://group-buy.jp/solar/hokkaido/info/how-does-it-work>

環境目標②地球環境の保全【地球温暖化対策の推進】

参考/中小企業者温室効果ガス排出量可視化支援事業補助金

1 自社のエネルギー使用量をシステム (可視化サービス)に入力

2 可視化サービスにより、自動集計され 可視化



※例: Zeroboard

※本市補助金はScope1及び2に限定(3は対象外)

出典: 資源エネルギー庁ホームページ

<https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteikyo/scope123.html>

Zeroboard社ホームページ

<https://www.zeroboard.jp/service/zeroboard>



【令和6年度の実績】

- 環境緑地保護地区やふれあいの森，嵐山など，自然とのふれあいの場の確保
 - ・ふれあいの森の維持管理
 - (1)台場小鳥の村ふれあいの森（旭川市台場2条3丁目/7,886㎡）
 - (2)緑が丘ふれあいの森（神楽岡1条7丁目/7,849㎡）
 - ※雑草除去（7月～9月）、支障木剪定（2月～3月）を実施

環境目標③自然環境の保全【自然とのふれあいの推進】



【令和7年度の取組】

- 環境緑地保護地区やふれあいの森，嵐山など，自然とのふれあいの場の確保
 - (1)台場小鳥の村ふれあいの森（旭川市台場2条3丁目/7,886㎡）
 - (2)緑が丘ふれあいの森（神楽岡1条7丁目/7,849㎡）
- 引き続き、雑草除去や支障木剪定などの維持管理を継続
- 【予算額：537千円】

環境目標③自然環境の保全【生物多様性の保全】



【令和 6 年度の実績】

●生息調査の継続的な実施

- ・アカミミガメ(条件付特定外来種)の生息状況調査(常磐公園)
- ・アライグマの試行捕獲の実施(神楽岡公園: 8 匹捕獲)
- ・ウチダザリガニの生息状況調査(市内河川)

●協働による取組の推進

- ・アズマヒキガエルの防除活動を市民参加型のイベントとして開催。
(神楽岡公園, 北彩都ガーデン, 東部中央公園で計 5 回/参加人数99人)
- ・市内河川におけるウチダザリガニの調査捕獲の実施(4 箇所/314匹捕獲)

●侵略的外来種の防除

- ・被害防止を目的としたアライグマの捕獲支援(箱わなの貸出等)
(捕獲頭数 559頭)
- ・アズマヒキガエル回収ボックス設置
(神楽岡公園/東部中央公園/はす池公園/北彩都ガーデン)
- ・アズマヒキガエル侵入防止ネットの設置(神楽岡公園/北彩都ガーデン)

環境目標③自然環境の保全【生物多様性の保全】



【令和6年度の実績】

●人と野生生物の共存

・ヒグマ対策

出没件数 78件/捕獲数 2頭

DNA分析による個体識別を活用した生息状況等調査

電気柵、ネットフェンスの設置や草刈りによる河川敷侵入抑制対策

市街地侵入を想定した対応訓練の実施（8月）

人里出没抑制を目的とした春期管理捕獲の実施（3月/捕獲数0頭）

・カラス対策

繁殖期における営巣、威嚇・攻撃に関する相談件数 98件

うち、環境部職員または委託業者が現場対応を行った件数 68件

（現場対応：巣、卵または幼鳥の搜索および除去）

環境目標③自然環境の保全【生物多様性の保全】



【令和7年度の取組】

●生息調査の継続的な実施

- ・神楽岡公園におけるアライグマの試行捕獲（継続）
- ・市内河川におけるウチダザリガニの生息状況調査（継続）
- ・常磐公園におけるアカミミガメの生息状況調査（継続）

●協働による取組の推進

- ・市民団体との協働によるウチダザリガニの防除【予算額：178千円】
- ・アズマヒキガエルの捕獲体験の実施【予算額：10千円】

●侵略的外来種の防除

- ・被害防止を目的としたアライグマの捕獲支援（箱わなの貸出等）
【予算額：7,078千円】
- ・アズマヒキガエル侵入防止ネット設置
（神楽岡公園、北彩都ガーデン、東部中央公園（増設）、カムイの杜公園（増設））
【予算額：139千円】

環境目標③ 自然環境の保全【生物多様性の保全】



「特定外来生物」

海外起源の外来種で生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼす、その恐れがあるものの中から指定。



アライグマ



ウチダザリガニ



オオハンゴンソウ



セイヨウオオマルハナバチ等

「北海道の指定外来種」

北海道に元々生息していない国内外来種で、北海道の生態系に著しい影響を及ぼす可能性があるとして指定。



アズマヒキガエル



アズマヒキガエル

「条件付特定外来生物」

「特定外来生物」の一部を当分の間、適用除外とする生物の通称。令和5年6月よりアカミミガメとアメリカザリガニが指定。※捕獲・飼育・無償譲渡」は規制対象外、「放出」、「販売・頒布・購入」は規制対象。



アカミミガメ



アメリカザリガニ

→条件付特定外来生物の指定前から旭川市内にアカミミガメの生息情報あり※アメリカザリガニの生息情報は無し。

環境目標③ 自然環境の保全【生物多様性の保全】



アライグマ

● 試行捕獲（神楽岡公園）



R6.10.3捕獲



R6.9.30捕獲



R6.9.13捕獲

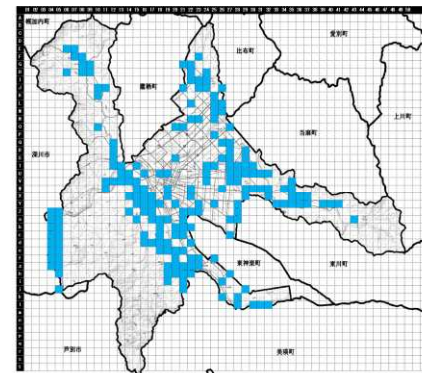
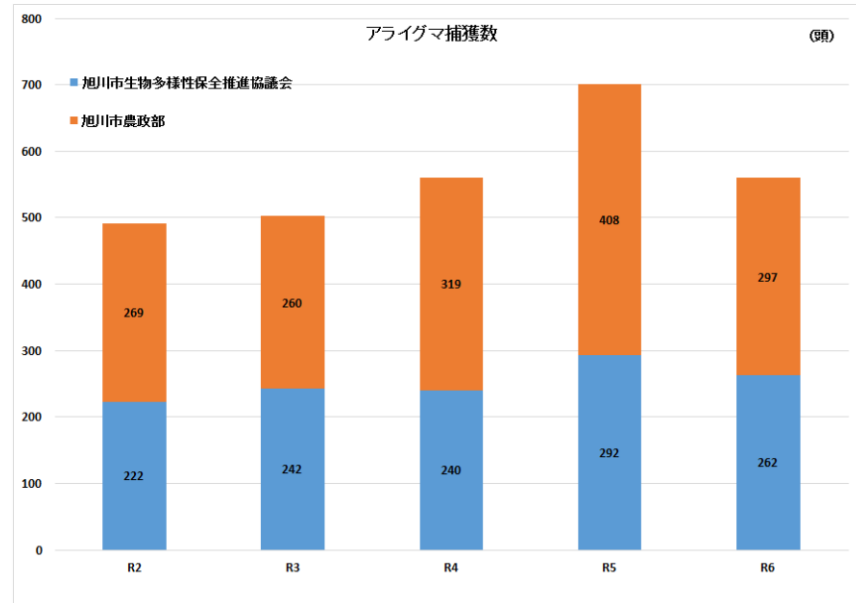
● その他地区における捕獲



R6.8.8捕獲（東旭川）



R6.9.30捕獲（西神楽）



アライグマが捕獲された地域
(H24～R6)

環境目標③ 自然環境の保全【生物多様性の保全】



アズマヒキガエル/ウチダザリガニ

●捕獲体験学習会告知

アズマヒキガエル 捕獲体験学習会

主催：旭川市 共催：上川緑各振興局

北彩都ガーデン 4月25日(金)
5月9日(金) ※講座あり
5月10日(土) ※講座あり

東部中央公園 4月26日(土)

神楽岡公園 5月16日(金)

※申込者数が一定数に満たない場合や天候(雨天、強風等)によっては中止・順延となる可能性があります。

時 間 5/9、5/10 19:00~21:00(講座あり)
その他の日程 19:30~21:00

講座講師 北海道教育大学旭川校 准教授 奥寺 繁 氏

持ち物・服装 懐中電灯、軍手、雨合符、長靴、汚れてよい服装

集合場所 神楽岡公園：緑のセンター
北彩都ガーデン：ガーデンセンター
東部中央公園：公園駐車場(テニスコート近く)

参加上限 各日20人まで(先着順)

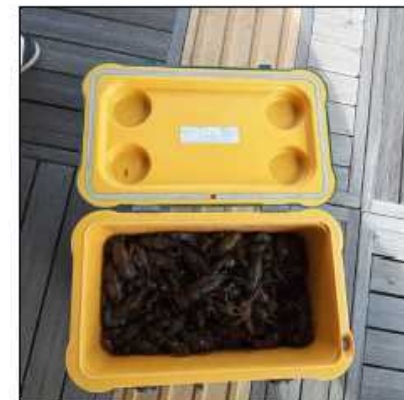
内 容 アズマヒキガエル講座(講座ありの場合)
公園内でアズマヒキガエル捕獲体験

申込方法 申込フォームから申し込みまたは 申込フォームはこちら
下記担当まで電話

担 当 旭川市環境総務課 0166-25-5350



●ウチダザリガニ試行捕獲 (捕獲個体の測定:R6.9/永山新川)



環境目標③自然環境の保全【生物多様性の保全】



【令和7年度の取組】

●人と野生生物の共存

・ヒグマ対策

出没件数 11件※R7.5月末時点

DNA分析による個体識別を活用した生息状況等調査（継続）

【予算額：9,700千円】

電気柵、ネットフェンスの設置や草刈りによる河川敷侵入抑制対策（継続）

【予算額：1,353千円】

上川調査設計協会と「無人航空機によるヒグマ対策の協力に関する協定」を締結（令和7年5月14日）

鳥獣保護管理法の改正を踏まえた、市街地侵入事案の対応訓練の実施（予定）

・カラス対策

繁殖期における営巣、威嚇・攻撃に関する通報、相談への対応（継続）

【予算額：513千円】

現場対応件数 3件※R7.5月末時点

環境目標③ 自然環境の保全【人と野生生物の共存】

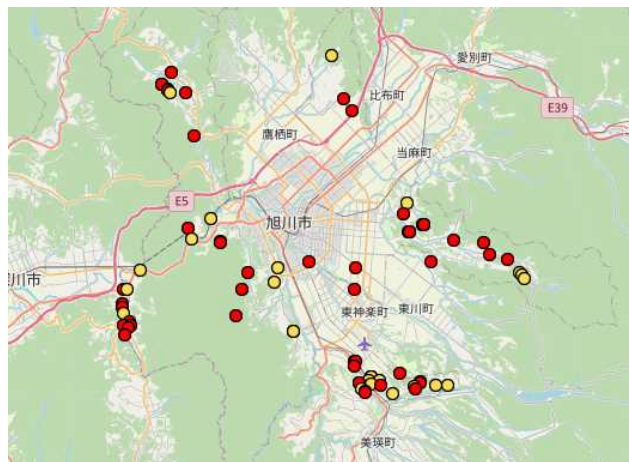


ヒグマ対策

令和6年度出没件数（月毎）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3	7	12	13	11	5	19	5	0	0	0	3

令和6年度のヒグマ出沒地点



ヘアトラップで撮影されたヒグマ親子



市街地侵入を想定した対応訓練
（令和6年8月実施）



実施場所（旭川大橋付近）



【令和6年度の実績】

- 市民，事業者との協働による清掃活動など環境美化の推進
 - ・全市民が環境美化に取り組む「クリーン旭川運動」の推進
参加者〔春〕13,120人、〔秋〕8,905人
ボランティア清掃ごみ袋交付（45L 約72,000枚、10L 約13,000枚）
清掃活動優良者の表彰（7人、2団体）
 - ・ごみのポイ捨て禁止に係る周知啓発
ごみのポイ捨て禁止運動参加者〔春〕1,710人、〔秋〕1,390人
ひろえば街が好きになる運動参加者75人
社会貢献活動を積極的に行う団体を支援する「旭川市ポイ捨て禁止運動
取組団体認定制度（ポイ禁チャレンジ）」を新設（登録25団体）



【令和7年度の取組】

●市民，事業者との協働による清掃活動など環境美化の推進

- ・「旭川市ポイ捨て禁止運動取組団体認定制度」の周知強化や参加機運の醸成

【予算なし】

市HP・SNS等で周知・啓発強化する。また、登録団体を対象に新たに取組回数や広範囲の活動など、特に優れた自主地域清掃活動等の取組に対し認定や表彰を行う制度の拡充を検討する。

環境目標⑤生活環境の保全【大気，水など生活環境の保全】



【令和 6 年度の実績】

- さわやかな大気の保全
 - ・ 大気汚染物質：6項目中5項目で環境基準を達成。
 - ・ 光化学オキシダント：2地点ともに複数回環境基準を超過。
 - ・ 特定粉じん排出届出／立入検査：15件／37回
 - ・ ばい煙発生施設設置事業所への立入検査：50件
- 清らかで豊かな水の保全
 - ・ 公共用水域の水質測定：市内河川10地点で実施 2項目中2項目で環境基準を達成
 - ・ 工場・事業場への立入検査：41事業場で実施 指導件数は3件
 - ・ 油流出事故への対応：52件
- 騒音，振動，悪臭防止対策
 - ・ 一般地域環境騒音：3地点 交通騒音：25地点 振動：6地点で実施
 - ・ 悪臭：2事業所で実施

環境目標⑤生活環境の保全【大気，水など生活環境の保全】



【令和 6 年度の実績】

●健全な土壌の保全

- ・土壌汚染が判明した土地については、状況に応じた指導・対応を継続中。

●化学物質による環境汚染の防止

- ・高濃度 P C B 廃棄物：新規発見時、事業者への立入件数／指導件数 = 3 件／3 件
- ・低濃度 P C B 廃棄物：保管事業者への文書送付及び市HP等による適正処理の普及啓発 新規保管開始届出件数 = 1 3 件
- ・ダイオキシン類：大気・河川・土壌のモニタリング実施

環境目標⑤生活環境の保全【大気，水など生活環境の保全】



			基準値 H26	実績値 R1	第1期目標 値R1	実績値 R5	第2期目 標値 R5	実績値 R6	最 終 目標値 R9
環境基準達成度（全14項目）	大気環境基準	二酸化硫黄(SO ₂)	○	○	○	○	○	○	○
		二酸化窒素(NO ₂)	○	○	○	○	○	○	○
		一酸化炭素(CO)	○	○	○	○	○	○	○
		光化学オキシダント(Ox)	×	×	○	×	○	×	○
		浮遊粒子状物質(SPM)	○	○	○	○	○	○	○
		微小粒子状物質(PM2.5)	×	○	○	○	○	○	○
	水質環境基準	生物化学的酸素要求量(BOD)	○	○	○	○	○	○	○
		人の健康の保護に関する項目	○	○	○	○	○	○	○
	一般環境騒音	騒音	○	○	○	○	○	○	○
	ダイオキシン類	大気	○	○	○	○	○	○	○
		公共用水域(水質)	○	○	○	○	○	○	○
		公共用水域(底質)	○	○	○	○	○	○	○
		地下水	×	○	○	○	○	○	○
		土壌	○	○	○	○	○	○	○

環境目標⑤生活環境の保全【大気，水など生活環境の保全】



【令和7年度の実施】

●さわやかな大気の保全

- ・大気汚染常時監視を実施。

【予算額：機器リース4,624千円 保守点検15,433千円】

- ・有害大気・ダイオキシン類調査委託【予算額：4,290千円】
- ・大気中石綿分析業務【予算額：551千円】

●清らかで豊かな水の保全

- ・公共用水域水質測定【予算額：3,201千円】
- ・工場排水分析【予算額：1,181千円】
- ・地下水分析【予算額：1,137千円】
- ・ゴルフ場に係る農薬分析【予算額：724千円】

●騒音、振動、悪臭防止対策

- ・面的評価システム整備・評価【予算額：2,880千円】
- ・悪臭測定【予算額：711千円】

環境目標⑤生活環境の保全【大気，水など生活環境の保全】



【令和7年度の取組】

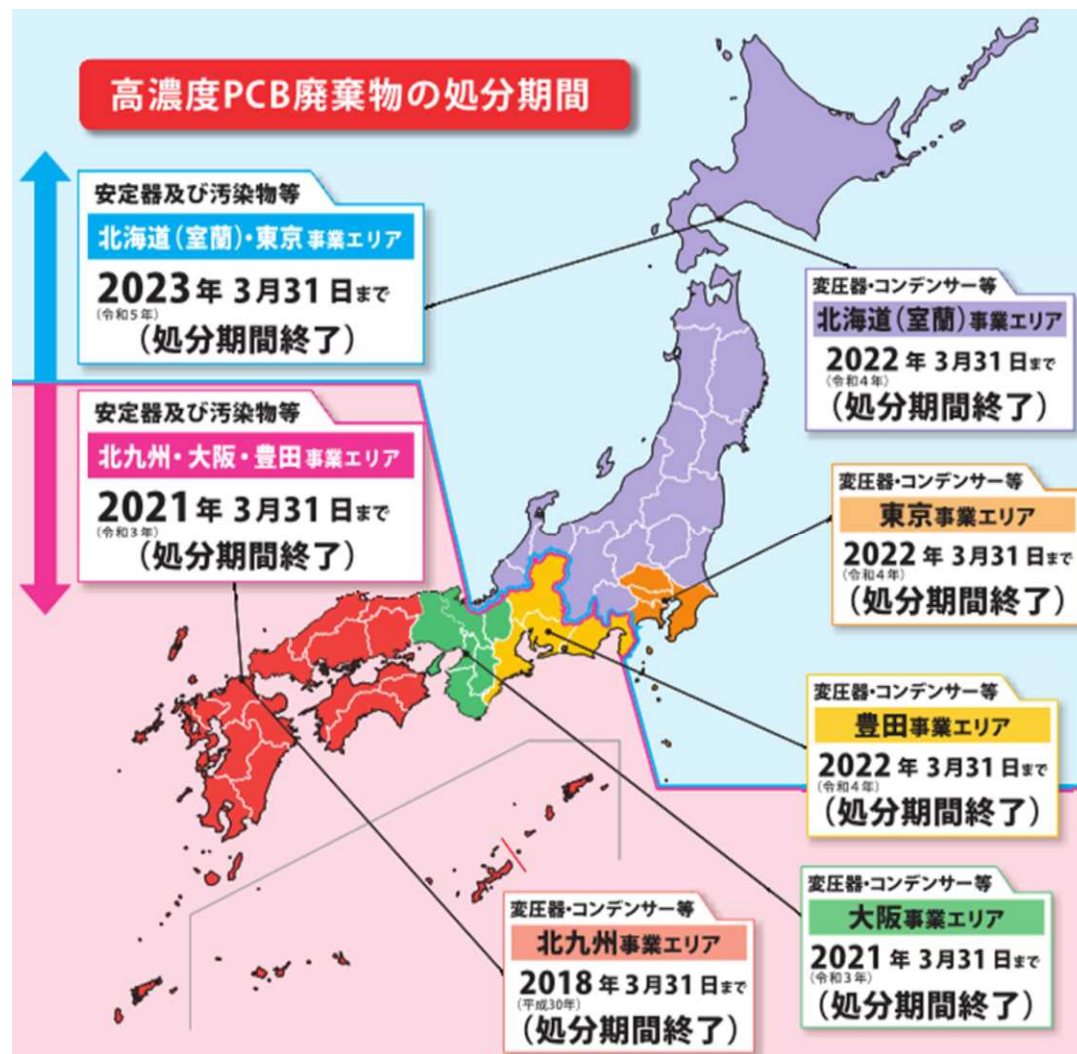
●健全な土壌の保全

- ・土壌汚染対策について、現地対応・指導を継続

●化学物質による環境汚染の防止

- ・高濃度P C B廃棄物の適正処理
⇒処理できる施設（J E S C O）が令和8年3月31日で稼働終了するため、期日までの確実な処分に向け、保管事業者に対する指導を継続する。
- ・毒性の高い化学物質による環境影響の把握を目的に、ダイオキシン類の調査を実施
- ・あわせて、関係法令に基づく届出指導の徹底や、事業所巡回を通じた適正運用の助言を行い、未然防止に取り組む。

PCB廃棄物の処分期間



- 高濃度PCB廃棄物
 - ・変圧器・コンデンサー
⇒令和4年3月31日まで
 - ・安定器及び汚染物等
⇒令和5年3月31日まで
- ※当該廃棄物を処理できる施設 (JESCO) が令和8年3月31日で稼働終了
- 低濃度PCB廃棄物
⇒令和9年3月31日まで



【令和6年度の実績】

- 環境学習の推進
 - ・みんなで学ぼう！あさひかわ環境フェスタの開催 来場者数延べ1,150人
 - ・環境アドバイザー派遣 派遣回数20件
- 市民運動や環境学習活動の核となる人材の育成
 - ・食品ロス削減の推進（出前講座5回、冷蔵庫整理整頓セミナー1回）、生ごみ堆肥化の普及（講習会8回、相談会1回）（再掲）
- 市民団体などの自発的な環境保全活動の促進
 - ・あさひかわ自然共生ネットワークによる市民団体相互の連携（緑の回廊展の開催（6月）、情報誌「みどりの回廊」の発行（3月））
 - ・あさひかわエコショップの利用推進、食品ロス削減協力店、ごみ減量等推進
- 環境情報の提供
 - ・旭川市環境白書の発行（11月）
 - ・HP等を活用したヒグマの出没情報等の発信（随時発信）
- 市政への市民参加と意見反映
 - ・環境審議会等による市民参加を図り、意見反映の場の創出
開催件数 環境審議会 2回 廃棄物減量等推進審議会 2回



【令和 7 年度の取組】

- 環境学習の推進
 - ・みんなで学ぼう！あさひかわ環境フェスタの開催（6月開催予定）
- 市民運動や環境学習活動の核となる人材の育成
 - ・アドバイザー派遣、講習会等による人材育成
- 市民団体などの自発的な環境保全活動の促進
 - ・市民団体との連携や事業所に対する認定制度の実施
- 環境情報の提供
 - ・SNSや広報誌なを活用した市民への情報提供
- 市政への市民参加と意見反映
 - ・各種附属機関及び意見提出手続き等による、環境行政への市民参加